



5月号

令和5年4月25日 発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
TEL(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

こどもの日、母の日

校長 稲泉 功

5月5日は、こどもの日です。昔から子どもの成長を祝う日として、女の子には3月3日の「ひな祭り」、男の子には5月5日の「端午の節句」がありましたが、現在（昭和24年以降）の5月5日は、男女の区別なく「こどもの日」として、こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する国民の祝日となっています。

5月の第二日曜日は、「母の日」です。今から百年程前、アメリカ人のアンナ・ジャービスという大変母親思いの娘さんが、亡くなった母の供養のため、墓前に花言葉が「母の愛情」を意味するカーネーションの花束を捧げたことが始まりといわれます。カーネーションを捧げ続けるうちに、アンナは、亡くなってからよりも生前に母を大事にすることの方が大切だと気づき、母を讃える国家的行事を開いてくれるよう、大統領に手紙を出しました。そのことがきっかけとなり、1914年、合衆国議会において「母の日」が制定されたのです。

生徒の皆さん、「こどもの日」の意義は、大人が子どもをどう育てたらよいか考えるだけでなく、子どもも家族や社会のために何ができるのか考えてみることにあります。

生徒の皆さんには、親に何かしてもらうばかりでなく、子どもとして何ができるのか、何をしたらよいか、こどもの日や母の日にじっくりと考えてください。「母の日」のように特別な日に限らず、毎日の生活の中で家族に感謝の気持ちを表すことは、十分できる筈です。

保護者の皆様には、「こどもの日」に限らず、ぜひ、お子様のいいところを認め、誉めてあげてください。

本校の校内研修、研究主題と副題の紹介

研究主題：「生徒の成長に『つなげる』教師、夢の実現に『つながる』学校」

副題：～主体的・対話的で深い学びのある授業と、組織的な教育相談体制の構築～

生徒のよりよい成長へ向けて、この言葉を軸に全教職員一丸となって取り組んでまいります。

生き生きと学ぶ



英会話を通して、表現を繰り返し学習し、自分の考えを伝える力を高める。（1年英語）



多項式を学習中。粘り強く考え、問題解決の過程を振り返り、学習を深める。（2年数学）



「生物の成長」では、細胞分裂が顕著なのはどんなところが考察する。（3年理科）